

## 茅ヶ崎市における戸別収集のあり方について

## 1 本市の概況

## (1) 人口等の推移

## ① 茅ヶ崎市（各年10月1日現在）

【表1】人口等の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
世帯数	101,862	102,867	102,532	104,132	105,611
人口(人)	242,003	241,887	242,389	243,406	244,091
老年人口* <sup>1</sup> (人) <sup>1</sup>	63,419	64,033	64,666	65,211	65,526
老年人口率(%)	26.2	26.5	26.7	26.8	26.8

\*1…65歳以上の人口

## ② 先行市（令和4年10月1日現在）

【表2】先行市の人口等

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
世帯数	114,194	200,139	103,411	60,879	114,746
人口(人)	242,680	443,451	224,095	139,387	257,713
老年人口(人) <sup>1</sup>	58,148	108,641	58,656	34,236	73,534
老年人口率(%)	23.8	24.5	26.2	24.7	28.7

## (2) 住宅の建て方別住宅数

## ① 茅ヶ崎市（各年10月1日現在）

【表3】住宅の建て方別住宅数の推移

	H25	H30
一戸建	53,550	59,060
	(57.7%)	(59.3%)
長屋建* <sup>2</sup>	2,790	3,000
	(3%)	(3%)
共同住宅	36,220	37,280
	(39.0%)	(37.4%)
その他	250	230
	(0.3%)	(0.2%)

\*2…1つの建物の中に複数の住戸が作られている集合住宅(エントランスや廊下、階段などはすべて独立しており、他の住人と共有することはない)

## ② 先行市（平成30年10月1日現在）

【表4】先行市の住宅の建て方別住宅数

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
一戸建	43,990	82,670	44,030	27,600	60,120
	(41.9%)	(45.4%)	(46.4%)	(50.3%)	(55.3%)
長屋建	1,550	5,840	1,800	690	3,980
	(1.5%)	(3.2%)	(1.9%)	(1.3%)	(3.7%)
共同住宅	59,370	93,540	48,860	26,470	44,460
	(56.6%)	(51.4%)	(51.5%)	(48.3%)	(40.9%)
その他	60	50	150	90	170
	(0.1%)	(0.03%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)

(3) 人口密度及び都市計画用途区域

① 茅ヶ崎市（各年1月1日現在）

【表5】人口密度及び都市計画用途区域の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
人口密度(1km <sup>2</sup> /人)	6,781	6,779	6,779	6,792	6,845
市街化区域(%)	62.1	62.1	62.1	62.1	62.1
市外化調整区域(%)	37.9	37.9	37.9	37.9	37.9

② 先行市（令和4年4月1日現在）

【表6】先行市の人口密度及び都市計画用途区域

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
人口密度(1km <sup>2</sup> /人)	8,918	6,350	2,382	5,172	3,799
市街化区域(%)	74.1	68.3	34.1	54.2	46.4
市外化調整区域(%)	25.9	31.7	65.9	45.8	53.6

(4) - 1 道路の状況 [道路延長]

① 茅ヶ崎市（各年3月31日現在）

【表7】道路延長の推移（単位:m）

	H30	R1	R2	R3	R4
総延長	719,602	720,482	721,205	721,439	721,536
国道	24,058	24,058	24,058	24,058	24,058
県道	21,555	21,555	21,555	21,555	21,939
市道	673,989	674,869	675,592	675,826	675,539

② 先行市（各市直近データ）

【表8】先行市の道路延長（単位:m）

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
総延長	594,777	1,418,754	1,259,926	499,660	1,000,171
国道	12,316	23,866	43,399	9,480	112,435

県道	19,035	60,618	48,169	33,367	86,754
市道	563,426	1,334,270	1,168,358	456,813	800,982

(4) - 2 道路の状況 [市道幅員別延長]

① 茅ヶ崎市 (各年3月31日現在)

【表9】市道幅員別延長の推移 (単位:m)

	H30	R1	R2	R3	R4
橋りょう	1,146	1,146	1,146	1,146	1,146
	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)
1.5m未満	11,502	11,428	11,362	11,338	11,341
	(1.7%)	(1.7%)	(1.7%)	(1.7%)	(1.7%)
1.5m以上2.5m未満	108,610	108,273	108,062	107,086	105,676
	(16.1%)	(16.0%)	(16.0%)	(15.8%)	(15.6%)
2.5m以上4.5m未満	308,662	309,008	309,094	309,261	309,561
	(45.8%)	(45.8%)	(45.8%)	(45.8%)	(45.8%)
4.5m以上	244,069	245,014	245,928	246,994	247,816
	(36.2%)	(36.3%)	(36.4%)	(36.5%)	(36.7%)

② 先行市 (各市直近データ)

【表10】先行市の市道幅員別延長 (単位:m)

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
橋りょう	-	4,719	4,897	-	3,301
	-(%)	0.4(%)	0.4(%)	-(%)	0.4(%)
1.5m未満	-	13,314	60,207	7,066	515
	-(%)	1.0(%)	5.2(%)	1.5(%)	0.1(%)
1.5m以上2.5m未満	-	86,104	91,611	38,472	16,406
	-(%)	6.5(%)	7.8(%)	8.4(%)	2.0(%)
2.5m以上4.5m未満	-	534,895	370,565	122,702	240,953
	-(%)	40.1(%)	31.7(%)	26.9(%)	30.0(%)
4.5m以上	-	694,658	641,077	288,572	543,109
	-(%)	52.1(%)	54.9(%)	63.2(%)	67.5(%)

## 2 ごみ処理の現状

### (1) ごみ排出量等

#### ① 茅ヶ崎市

【表 11】 ごみ排出量等の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
ごみ(t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693
1日1人あたり(g/日)	784	797	792	804	715
リサイクル率(%)	22.1	21.8	23.4	24.6	27.8
資源化量(t)	15,275	15,361	16,427	17,556	17,711
資源物の資源化	13,031	13,224	13,575	14,820	15,152
磁気選別	424	504	520	588	237
破砕前資源化	731	579	536	571	385
灰の資源化	1,089	1,054	1,796	1,577	1,937
最終処分率(%)	9.7	9.9	9.2	8.7	7.5
最終処分量(t)	6,714	7,018	6,435	6,192	4,779

#### ② 先行市 (R3 年度)

【表 12】 先行市のごみ排出量等

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
ごみ(t)	67,287	130,522	68,734	36,598	78,190
1日1人あたり(g/日)	764	812	842	730	831
リサイクル率(%)	26.0	30.1	24.9	34.4	25.5

### (2) 家庭系ごみの収集状況

#### ① 家庭系ごみ収集量

【表 13】 家庭系ごみ収集量の推移 (単位:t)

	H30	R1	R2	R3	R4
燃やせるごみ	39,913	40,128	39,846	38,555	32,782
燃やせないごみ	2,761	2,927	3,294	3,641	1,618
大型ごみ等	722	837	825	898	622
資源物*3	13,048	13,234	13,945	14,263	14,808

\*3…資源物は、びん、かん、ペットボトル、廃食用油、金属類（指定 10 品目）、古紙類、プラスチック製容器包装類、衣類・布類、使用済小型家電を含む（R2 年度まで）R3 年度からは、金属類は指定 8 品目になり、剪定枝を追加

#### ② - 1 家庭系ごみの収集方法（定期収集）

【表 14】 定期収集

区分	燃やせるごみ、燃やせないごみ、びん、かん、ペットボトル、廃食用油、金属類

	(指定 8 品目)、古紙類、衣類・布類、プラスチック製容器包装類		
区域	市内全域(市内 8 地区)*4		
方法等	回数	燃やせるごみ	週 2 回
		燃やせないごみ	隔週に 1 回(第 5 週は除く)
		びん、かん、ペットボトル、廃食用油、 金属類(指定 8 品目)、古紙類	隔週に 1 回
		衣類・布類	月 1 回
		プラスチック製容器包装類	週 1 回
	体制	燃やせるごみ	直営(74%)、委託(26%)
		燃やせないごみ	直営(100%)
びん、かん、ペットボトル、廃食用油、 金属類(指定 8 品目)、古紙類、衣類・布 類、プラスチック製容器包装類		委託(100%)	
方式	ステーション収集		

\*4…市内 8 地区及び各地区の収集日等の詳細は「2023 年度版ごみと資源物の収集カレンダー」  
による

## ② - 2 家庭系ごみの収集方法 (予約収集)

【表 15】予約収集

区分	大型ごみ等(大型ごみ・特定大型ごみ・特定粗大ごみ)、剪定枝、動物死体	
区域	市内全域	
方法等	回数	随時
	体制	委託(100%)
	方式	戸別収集

## ② - 3 家庭系ごみの収集方法 (安心まごころ収集\*5)

【表 16】安心まごころ収集

区分	燃やせるごみ、燃やせないごみ、びん、かん、ペットボトル、廃食用油、金属類 (指定 8 品目)、古紙類、衣類・布類、プラスチック製容器包装類		
区域	ニ		
方法等	回数	燃やせるごみ	週 2 回
		燃やせないごみ、びん、かん、ペットボ トル、廃食用油、金属類(指定 8 品目)、 古紙類、衣類・布類、プラスチック製容 器包装類	隔週に 1 回
	体制	直営(100%)	
	方式	戸別収集	

\*5…安心まごころ収集は、ごみと資源物を集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障害  
者の世帯を対象に、声掛けを行いながらごみと資源物を各戸収集し、安否確認を行うも  
の

② - 4 家庭系ごみの収集方法（ボックス回収）

【表 17】ボックス回収

区分	使用済小型家電	
区域	市内全域(29 拠点)*6	
方法等	回数	随時
	体制	直営(100%)
	方式	拠点収集

\*6…茅ヶ崎市役所(2F 資源循環課)、小出支所、茅ヶ崎駅前市民窓口センター、香川公民館、萩園市民窓口センター、小和田公民館、鶴嶺公民館、松林公民館、南湖公民館、図書館本館、青少年会館、うみかぜテラス(体験学習センター)、環境事業センター、浜須賀会館、海岸地区コミュニティセンター、小和田地区コミュニティセンター、小出地区コミュニティセンター、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎地区コミュニティセンター、南湖会館、鶴嶺東コミュニティセンター、高砂コミュニティセンター、松浪コミュニティセンター、鶴嶺西コミュニティセンター、辻堂駅前出張所、香川駅前出張所、ハマミーナ出張所、イオン茅ヶ崎中央店(3F)、イオンスタイル湘南茅ヶ崎(1F)の29 拠点

(3) ごみ処理経費

① 茅ヶ崎市

【表 18】ごみ処理経費の推移（単位：千円）

	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計総決算額	74,990,368	73,258,366	99,587,907	83,447,722	-
ごみ処理経費	3,119,998	3,459,372	3,136,779	3,276,598	-
	(4.2%)	(4.7%)	(3.1%)	(3.9%)	(%)
建設改良費	63,210	490,002	51,264	245,810	-
処理費	3,055,548	2,963,370	3,084,282	3,027,812	-
収集運搬費	1,579,279	1,514,821	1,556,603	1,442,966	-
中間処理費	1,147,235	1,168,057	1,196,282	1,270,260	-
最終処分費	323,281	278,805	326,345	311,132	-
その他	5,753	7,687	5,052	3,454	-
その他	1,240	0	1,233	2,976	-

② 先行市（令和3年度）

【表 19】先行市のごみ処理経費（単位：千円）

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
一般会計総決算額	88,252,828	175,915,210	97,385,025	54,819,501	102,069,968
ごみ処理経費	4,820,524	12,586,213	3,926,676	1,473,757	2,695,561
	(5.5%)	(7.2%)	(4.0%)	(2.7%)	(2.6%)

### 3 ステーション収集方式の課題等

#### (1) ステーション収集とは

あらかじめ決められた場所(=ステーション)に複数の家庭や店舗から排出されたごみや資源物をまとめて収集する方法

【表 20】ステーション数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
燃やせるごみ <sup>*7</sup>	8,655	8,696	8,758	8,535	8,580
燃やせないごみ <sup>*8</sup>	7,536	7,533	7,588	6,674	6,777
資源物 <sup>*9</sup>	3,413	3,420	3,439	3,456	3,516

\*7・8…約 8 世帯に 1 箇所設置

\*9…約 24 世帯に 1 箇所設置

#### (2) ステーション収集のメリット

- ・効率的なごみと資源物の収集の実施
- ・ごみと資源物の収集コストの低減化
- ・プライバシーの保持（匿名性が高い）
- ・ご近所付き合いの活発化

#### (3) ステーションの実態





(4) ステーション収集における関係主体の役割

【図1】自治会と行政の役割

	自治会の役割		行政の役割
	組織の役割	個人の役割	
ステーションの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステーション選定・申請</li> <li>ネットボックス等の購入</li> </ul>		ステーション設置等許可
ごみ出しと収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルール順守の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守ってごみ出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルール設定・普及啓発</li> <li>収集</li> </ul>
ステーションの維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃当番の調整</li> <li>不適正排出の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当番による清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・改善勧告</li> </ul>

(5) 課題

① 困難性を増すステーション新設や移動

- ・ステーション(≒迷惑施設)設置に対する土地提供者や周辺住民の嫌悪・忌避感
- ・住宅密集及び狭隘エリアにおけるステーション確保



② ステーション周辺の環境悪化

- ・ガラスや猫などによるごみの散乱
- ・悪臭の発生など衛生上の問題の発生
- ・通行への支障の発生



③ 増大する地域への負担

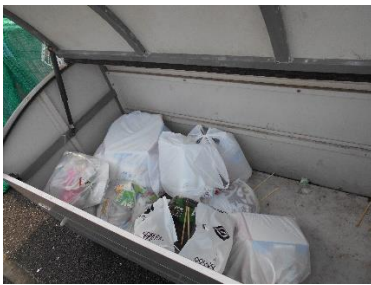
- ・不適正排出の対応(再分別や処理費用)による負担の増加
- ・清掃当番などの属人的な負担の偏りの発生
- ・負担を伴わないステーション利用者や自治会未加入者との不公平感の発生





④ 無くならない不適正排出

- ・ 不分別なごみの排出
- ・ 他地域からの持ち込み、ポイ捨て
- ・ 事業者による家庭ごみ「なりすまし」排出や産業廃棄物の排出
- ・ 収集後の排出



## 4 戸別収集について

### (1) 戸別収集とは

戸別収集とは、各戸の敷地内の道路に面した場所に出されたごみを各戸(1棟)ごとに収集する方法



### (2) 排出場所

#### ① 一般的な戸建て住宅



自宅の敷地内で道路に面した収集しやすい場所にごみを排出

#### ② 専用道路のある戸建住宅



専用道路のある戸建住宅は、専用道路を含め自宅の敷地内で公道に面した収集しやすい場所にごみを排出

#### ③ 高低差がある戸建住宅



高低差がある戸建住宅は、道路の高さまでごみを運び、自宅の敷地内で道路に面した収集しやすい場所にごみを排出

④ 専用のごみ集積場所がある共同住宅



既に専用のごみ集積場所が設置されている共同住宅は、戸別収集の対象外

⑤ 専用のごみ集積場所がない共同住宅



専用のごみ集積場所がない共同住宅は、新たにごみ集積場所を敷地内に設置し、設置されたごみ集積場所にごみを排出

(3) メリットとデメリット

【表 21】 戸別収集のメリットとデメリット

メリ ツ ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ集積場所の清掃当番など維持管理の負担の軽減</li> <li>・ 自宅の目の前に集積場所があることに対するストレスの軽減</li> <li>・ 排出者責任の明確化               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 不適正排出の減少</li> <li>▶ ごみの減量化</li> </ul> </li> <li>・ 高齢者や障がい者、子育て世代のごみ出し負担の軽減</li> </ul>
デ メ リ ツ ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集効率の低下</li> <li>・ ごみの収集運搬費用の増大</li> <li>・ <u>プライバシーの問題</u>*10</li> <li>・ <u>防犯面の問題</u>*11</li> <li>・ <u>鳥獣対策に伴う費用負担</u>*12</li> <li>・ ご近所付き合いの希薄化</li> </ul>

\*10…敷地内にごみを排出するため、各家庭や店舗等からどのようなごみが排出されているかが第三者に知られてしまうこと

\*11…各家庭や店舗等におけるごみの排出状況(ポリバケツの残置など)から、その方のライフスタイル(在宅の有無)が第三者に知られてしまうこと

\*12…各家庭や店舗等でカラス鳥獣(カラスや猫など)対策を講ずるため、ネットやポリバケツ等を購入する必要があること

(4) 県内の状況（県内市部のみ）

【表 22】 県内の戸別収集実施状況（県内市部のみ）

	大和市	藤沢市	厚木市	海老名市	平塚市
実施年月	2006. 7-	2007. 4-	2019. 5-	2019. 9-	2021. 4-
燃やせるごみ	○	○	△ <sup>*13</sup>	○	△ <sup>*14</sup>
燃やせないごみ	○	○	×	×	×
資源物	×	△ <sup>*15</sup>	×	×	×
事業系一般廃棄物	○	○ <sup>*16</sup>	×	×	×

\*13…一部地域でモデル事業を実施中

\*14…一部地域で実地中（徐々に拡大予定）

\*15…古紙類、衣類・布類のみステーション収集

\*16…申し出書を提出した事業者のみを対象に実施

(5) 減量効果

① 先行市（全市域実施市部のみ）

【表 23】 先行市の戸別収集等実施による減量効果

	戸別収集実施前	戸別収集実施後	増減値	増減率
大和市	H17(2005)年度	H18(2006)年度		
燃やせるごみ	46,946t	33,940t	-13,006t	-27.7%
燃やせないごみ	4,384t	2,511t	-1,873t	-42.7%
藤沢市	H18(2006)年度	H19(2007)年度		
燃やせるごみ	100,970t	88,072t	-12,898t	-12.7%
燃やせないごみ	10,959t	6,792t	-4,167t	-38.0%
海老名市	R1(2019)年度	R2(2020)年度		
燃やせるごみ	18,466t	17,284t	-1,182t	-6.4%

※ 各市、戸別収集のほか、「ごみ有料化」など各種ごみ減量施策を同時に実施

② 参考（葉山町）

【表 24】 戸別収集実施による減量効果（葉山町）

	戸別収集実施前	戸別収集実施後	増減値	増減率
葉山町	H25(2013)年度	H26(2014)年度		
燃やせるごみ	6,402t	5,855t	-547t	-8.6%

(6) 実施費用

① 収集条件

【表 25】 収集条件

区分	使用 車両	収集 時間	稼働数 /1日	収集可能量 /1稼働	収集可能 世帯数
通常収集	パッカー車	90分 <sup>*17</sup>	4稼働 <sup>*18</sup>	約850kg	-

狭隘収集	軽トラック	-	6稼働 <sup>*19</sup>	-	約40世帯
------	-------	---	--------------------	---	-------

\*17…往復移動40分(環境事業センター⇄収集エリア)+作業時間50分(1コース分)

\*18…午前2稼働+午後2稼働

\*19…午前3稼働+午後3稼働

② コース数及び必要車両台数の算出(燃やせるごみの場合)

【表26】コース数及び必要車両台数

	通常収集			狭隘収集		
	想定 収集量 (kg)	コース数	車両数	世帯数	コース数	車両数
1番地区	49,664	63	15.8	282	7	1.2
2番地区	49,213	60	15.0	127	3	0.5
5番地区	55,224	62	15.5	201	5	0.8
6番地区	33,914	35	8.8	320	8	1.3
北地区(月・木)計	188,015	220	55.0	930	23	3.9
3番地区	43,029	51	12.8	139	3	0.6
4番地区	41,906	50	12.5	89	2	0.4
7番地区	53,235	63	15.9	882	22	3.7
8番地区	46,797	51	12.8	196	5	0.8
南地区(火・金)計	184,967	216	54.0	1,306	33	5.4

③ 収集能力不足(燃やせるごみ)

【表27】不足車両等

	必要分		現有 車両数	不足分	
	コース数	車両数		コース数	車両数
北地区(月・木)					
通常収集	220	55	23	128	32
狭隘収集	23	4	0	23	4
南地区(火・金)計					
通常収集	216	54	23	124	31
狭隘収集	33	6	0	33	6

④ 実施費用(=委託料)

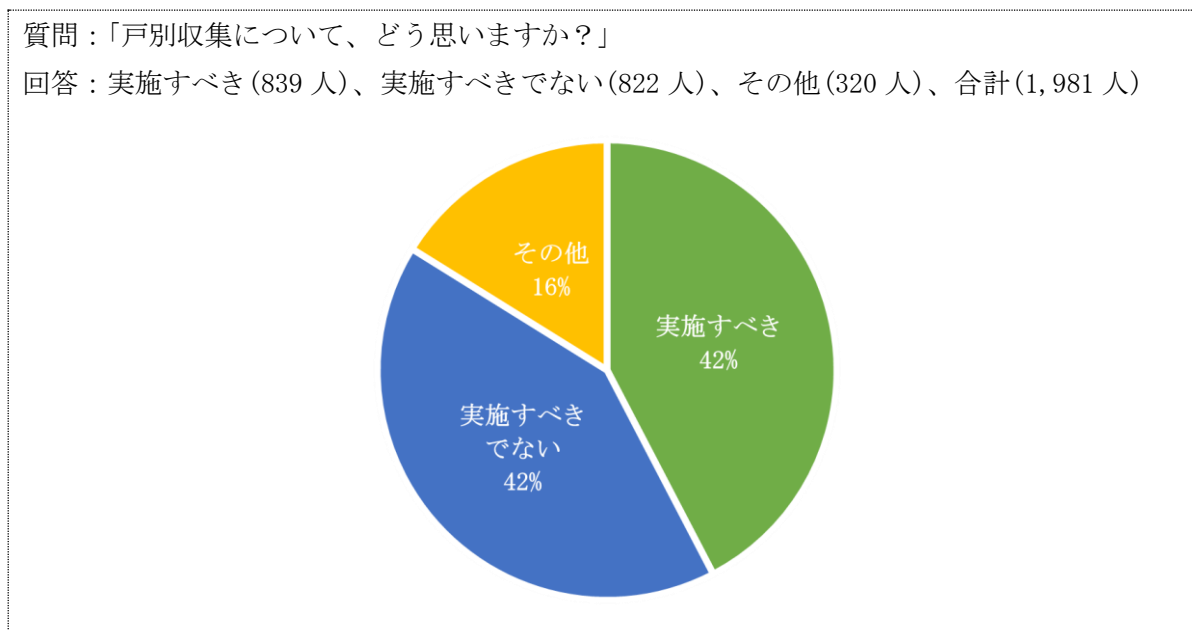
【表28】実施費用

	R1(2019)算出	R5(2023)算出
燃やせるごみ	-	約650,000,000円
燃やせるごみ+燃やせないごみ	約410,000,000円	約700,000,000円

(7) 市民ニーズ

① 過去のアンケート結果

【図2】H30 実施アンケート調査結果



② - 1 R5 年度実施アンケート

【表29】R5 実施アンケート概要

	無作為抽出アンケート	フリーアンケート
実施期間	・ R5. 5/16-31	・ R5. 5/16-31
調査地域	・ 市全域	-
調査対象	・ 市内在住で満 18 歳以上の男女 3,000 人 ・ 市内に事業所を構える従業員が 10 人以下の事業者 1,000 者	・ 市内在住の方
抽出方法	・ 住民基本台帳または法人市民税課税台帳による無作為抽出	-
調査項目	・ 最大 13 問	・ 最大 13 問
調査方法	・ 郵送回答またはインターネットによる回答	・ インターネットによる回答

② - 2 アンケート調査票(R5 実施分)

※ 資料 5 参照